



発行者
 一般社団法人 静岡県珠算協会
 公益社団法人
 全国珠算教育連盟静岡県支部
 (静岡市駿河区八幡2丁目)

発行人 松村 茂夫
編集人 徳増 久夫
印刷所 井村 印刷

「進化元年」

第60回全国珠算研究会に参加して

清水地区 澤田 幸子

桜が満開の東京で、公益社団法人として歩み始めて、第一回目の記念すべき、全国珠算研究会が、三月三十一日(月)品川区立総合区民会館「きゅりあん」にて行われました。前日は、全珠連創立60周年記念式典と祝賀会が品川の、グラントプリンスホテル新高輪「飛天」で盛大におこなわれ冒頭、正面の、スクリーンに歌川廣重の東海道五拾三次「品川宿」が大きく写し出されました。研究会でも、最初に同じ画像がスクリーンに写し出され、そのあと研究会の歩みが始まりました。第一回珠算研究会発表会が「静岡県」と大きく画面に出ました時、又その後六回、静岡県が担当県として研究会を無事とどこおりなく行ってきたことは、諸先輩の先生方のご努力の賜物と思いがあつくなりました。

文部科学省と品川区教育委員会の後援をいただいている研究会で、梶川真秀理事長のご挨拶は、公益社団法人になって第一回目の研究会であり、この60回目を節目として珠算教育の「進化元年」としたいと、会員にとって今後の塾経営に大きなプラスになるようにと話されました。文部科学省より西村修一様ご臨席下さり、ごあいさつを頂きました。そろばんの歴史にふれ、開館された「日本そろばん資料館」のすばらしさ、そして海外でのそろばん状況等をお話下さいました。

セレモニーが終り、いよいよ勉強です。午前の部は、相田みつを美術館館長の相田一人氏を講師に「一生勉強・一生青春」と題して一時間三十分の講演会でした。講師の相田先生は、相田みつを氏のご長男で「息子から見た相田みつを」を話させていただきましたとおっしゃいました。

十代の後半に、あるお寺の住職にめぐり合い、四十年間座禅をくみ、仏教的な思考を基底に置いて人間の生き方を鋭く問う多くの詩を残していらつしやいます。この講演を聞いて、相田みつを氏の世界を、あらためて知ることができ、とても感銘を受けました。

「つまづいたっていいじゃないか にんげんだもの」私の大好きな相田みつを氏の代表作の一つです。

午後の部は、パネルディスカッションです。テーマは「算数教育とそろばん」でパネラーは左記の三名の先生方です。



相田みつを氏は、独自の世界を持つ書家であり、詩人です。旧制中学の頃から、書や短歌に親しみその後独自のスタイルを確立、現在のシンガーソングライターに近いとお話下さいました。

パネラーのプロフィール

◎上垣 渉

現職 岐阜聖徳学園大学教育学部教授
 三重大学名誉教授
 専門 数学教育史および数学史
 所属学会 数学教育協議会副委員長、日本数学教育史学会会長、日本数学教育学会

◎中野 靖彦

称号 教育学修士(東京学芸大学)
 現職 愛知淑徳大学文学部教育学科教授
 専門 教育心理学、発達心理学
 所属学会 日本教育心理学会、日本心理学会

◎大場 一輝

現職 東京都狛江市立緑野小学校校長
 専門 算数科教育、特別支援教育、教育評価
 所属学会 日本教育心理学会
 称号 教育学修士(東京学芸大学)

上垣先生と中野先生は、全珠連の学術顧問でもいらつしやいます。司会は、珠算教育研究所研究員小沼光浩先生です。

最初に、司会者の小沼先生から、今日は三人の先生方から「外部から見た珠算」について色々とお話しをしていただきます、とあいさつがあり、続いて三人の先生方から自己紹介がありました。そして、算数教育とそろばん・計算力・数学的な